

委 員 会 報 告

- 総務常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 建設経済常任委員会

各常任委員会では、6月定例会で付託になった議案・陳情について審査を行いました。

総務常任委員会

(山田義盛委員長)

所管事務調査

○広島県廿日市市

(調査事項)

自治会加入促進と自治会振興について

廿日市市では、新たな転入者には、「自治会に加入しましょう」「あなたの自治会は○です」と書かれたチラシを配り、側面的な支援を行っている。また、「町内会・自治会活動Q&A」というハンドブックを作成



広島県廿日市市にて

して、自治会に役立つ制度・補助金の紹介や、自治会役員のなり手がない場合の助言等、自治会振興の支援を行っている。

○岡山県玉野市

(調査事項)

自治会加入促進と自治会振興について

玉野市では、夏祭りや敬老会、防犯パトロール、高齢者などへの福祉活動、公園・道路などの清掃活動は、町内会や自治会を中心に行っている。市はこれらの活動を支援するためのメニューが書かれた『コミュニティハンドブック』を作成し配布している。ハンドブックは自治会支援だけではないと思う。

曾於市でも市民と市役所をつなぐ役割を持った、便利帳的なもの

ンドブックの必要性を感じた。

☆辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について

問 事業内容は。

答 大隅町の市道神牟礼・沖上線と、市道須田木線の2路線を、平成28年度から32年度にかけて道路改良を行うものである。

問 なぜ幅員6mと7mがあるのか。

答 市道須田木線の幅員6mは、幅員を狭くし延長を伸ばして、早く道路改良を終わらせたい。市道神牟礼・沖上線の幅員7mは、大型農業機械の車両等の通行が多いためである。

☆平成28年度一般会計補正予算について(所管分)

問 財部支所庁舎の耐

震診断・補強計画作成があるが、それぞれの築年数と耐用年数は。

答 財部支所が築50年、本庁舎が34年である。鉄筋コンクリート造りの耐用年数は60年である。

問 耐震補強工事をすれば耐用年数は伸びるのか。

答 耐震補強工事後の耐用年数は伸びるが、天井や壁等は別途改良工事が必要である。

問 企画課の市営放送及び自治会放送管理費の内容は。

答 コミュニティFM放送の難聴対策に期間を要するために、6月末で終了予定であった財部地域のオフトーク通信を、12月まで延長する回線使用料である。

問 FM放送の難聴地域の対策と方法は。

答 中継所アンテナの改修や移設、電波の出力増を検討している。それ以外は戸別アンテナの設置で対応したい。

問 岩川高校跡地等利用検討委員会の内容は。

答 岩川小・大隅中PTA代表、教職員代表、岩川校区公民館代表、商工会、弥五郎どん祭り関係者等委員15名と、識見を有する者1名で、3回の開催を予定している。

問 識見を有する者とはどんな人か。

答 まちづくりの専門的知識のある方を考えている。

問 委員会の窓口はどこか。

答 委員会の庶務は、大隅地域振興課において処理する。

文教厚生常任委員会

(徳峰一成委員長)

所管事務調査

○埼玉県東松山市

(調査事項)

健康長寿都市・東松山モデル事業について

東松山市は、「毎日一万歩運動」と、「プラス千歩運動」を市民に呼びかけ、ウォーキング主体の健康増進と医療費の抑制に取り組んできた自治体である。

毎年世界各国から数万人が参加し35年以上継続しているウォーキング大会を開催し、ハード面ではウォーキング



佐久総合病院にて

コースを毎年整備するなど、多面的な取り組みをおこなっていた。

本市においてもやる点は検討すべきではないかと感じた。

○長野県佐久市・佐久総合病院

(調査事項)

在宅医療、介護の連携について

J A長野厚生連佐久総合病院は、農村医療の先駆けとして大きな実績を上げている。昭和19年開院。故若月俊一医師が先頭に立ち医療チームを組み、病院での医療業務だけでなく、周辺の自治体の農村部に継続して入る医療の取り組みは、住民の健康増進、医療費の抑制に大きな効果を発揮してきた。

長野県は、平均寿命が男女とも日本一、ガンを含めた全死因年齢

調整死亡率男女とも日本一低い。さらに、老人医療費が47都道府県中44位と低い。

そこには、70年にわたる当病院の継続してきた大きな努力と取り組みを感じた。本市でも参考にできないかと感じた。

☆お生きいき健康センターの設備及び管理に関する条例の一部改正について

今回シャワー室を設置することになったが、その面積、使用料及び使用時間について

答 シャワー室と更衣室の面積は、それぞれ約1平方メートル。使用料は1回100円コインタイマー式で使用時間は5分間である。

問 シャワー室は女性利用者のことなど考えると、棚や鏡など設置すべきではないか。

答 設置の方向で対応していきたい。

☆平成28年度一般会計補正予算(所管分)

保育所等整備補助事業に769万5千円が計上され、これは国2分の1、市4分の1の補助事業で今回、正心保育園(大隅町)の老朽化による雨漏り等の修繕するものである。

意見 市内の多くの保育施設は雨漏りや老朽化が進んでおり、同様の悩みや問題を抱えているところもあるのではないか。

答 保育所等整備事業を積極的に活用すべきである。

問 教育委員会で2人の職員が産休に入る予定だが、職員の休業補償について。

答 産前休暇8週間と産後休暇8週間の期間

は、特別休暇として給与が支給。その後の育児休業は当該子が3歳に達するまで取得するのが可能。子が1歳になるまでは、市町村共済組合より育児休業手当金の支給がある。

問 学校給食センター管理費の増額について

答 児童数の増加で2学級から3学級となったため、学校給食配送用コンテナ1台分の購入費用である。

問 文化財整備事業費の増額について

答 曾於高校の敷地内に昭和13年に建立された有馬厚軒先生頌徳碑の基礎部修繕費用である。

答 石碑の中位(集石)部分が崩壊の恐れがあり大変危険なため、石碑上部から2段目を残しその下部を撤去し再建立をする計画である。

*有馬厚軒氏は、幕末の末吉に生まれ、末吉で教育の振興に寄与された方である。

意見 石碑前に頌徳碑に関する解説板を、設置したらいいのでは。

陳情書

☆教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元、複式学級解消をはかるための2017年度政府予算に係る意見書採択の要請する陳情書(第4号)

本陳情の要旨は、義務教育費の国庫負担が長年にわたりカットされているため、これをもとにもどし教職員を充実して複式学級をはじめとする教育内容の改善を求める内容。本陳情は全会一致で採択。国への意見書提出も全会一致で採択。

建設経済常任委員会

(伊地知厚仁委員長)

所管事務調査

○曾於市地区春季畜産品評会(平成28年4月13日～15日)が曾於地区畜産共進会出品の選考をかねて行われ、出品頭数は大隅39頭、末吉39頭、財部32頭でそれぞれ曾於地区春季畜産共進会への出品牛が選考された。

日)においては1部から4部まで96頭の出品があり末吉出品牛が2部、3部、4部で最優秀賞一席に選ばれた。

○鹿児島県徳之島町(調査事項)

TMRセンターのこれまでの成果

TMR(混合飼料)の建設で、農家の労力負担軽減で経営の安定を図る。

本市においても、高

○曾於地区春季畜産共進会(平成28年5月18



徳之島の畑かん調査

齢化で農家戸数が減少しているので、TMRセンターの取組に期待するものである。

○鹿児島県天城町(調査事項)

徳之島ダムにおける畑かんの状況

干ばつ被害を防止する水を利用、マンガロー農家では作業が楽しくなり10アール400万円の収益がある。水の恵みに感謝しているとのことである。

本市も水利用において今後新たな作物の選定など農家の収益が向上するような取り組みが望まれる。

☆曾於市有住宅条例の一部改正

問 火災により1戸の住宅を用途廃止するが火災保険で建て替えはできないのか。

答 限度額の範囲内で費用が給付されるが、

火災のあった場所になるため入居がなければ無駄になるので慎重に検討したい。

☆財産処分について(マンガロー)

問 大鳥峡のマンガローを無償譲渡するに至った経緯は。

答 バンガローは平成18年度に用途廃止され平成26年度に大鳥峡施設整備検討委員会で撤去が決定され、時価評価額と撤去費を比較した結果、無償譲渡のほうが工事を軽減できるとして決定した。

☆平成28年度一般会計予算補正(所管分)

問 産地パワーアップ事業の概要について

答 事業主体は、メルヘン農園(有)で、荒茶加工施設の製茶工場を建



新地公園用地

参加している。

問 新地公園の追加取得する駐車場用地の概要について。

答 追加取得する用地では、駐車台数47台でグラウンドゴルフ場全体では112台、生きいき健康センター側も含めると378台となる。グラウンドゴルフコースの段差については、車の乗り入れも考慮しながら現在より低くするよう検討している。

問 思いやりふるさと寄附金広報旅費内容について

答 ふるさと納税を運営する会社が開催する数万人規模のイベントがあり全国の自治体が集まり、返礼品の紹介が行われる。本市も特産品宣伝と売り込みに